

# 建設業者と触れ合い

## 玉造小6年テーブル作り

茨建協建設  
未来協議会

県建設業協会建設未来協議会鹿行地区（藤井雅成幹事）は12日、行方市立玉造小学校（行方市玉造甲3200）でベンチ付きテーブル製作体験学習を開催した。鹿行地区会員20人、6年生の児童76人が参加。同協議会の鈴木達二会長は、事業の意義について「建設業の従事者と子どもたちが直接触れ合える良い機会。これからも長く続けてほしい」と語っている。

開会式では、県建設業協会銚田支部の羽生義隆支部長が「今回の体験学習を通じて、建設産業の魅力とものづくりの大切さを学んでほしい」とあいさつ。続いて、藤井幹事が「建設業は道路や建物を作る仕事。ものづくりの魅力味わってもらえたら」と述べた。田辺光博校長は「建設業に従事する人たちの情熱や温かさ、



藤井幹事



鈴木会長



田辺校長



羽生支部長

技術の素晴らしさを実感してもらいたい」と呼び掛けた。次に、4班に分かれて組み立て作業を実施。インパクトドライバなどを使用し、皆で協力しつつテーブルを製作した。

閉会式では、羽生支部長が田辺校長に目録を授与。生徒代表として、瀧ヶ崎愛唯さん、鈴木夕海さん、兼平大矢さんが感謝の言葉を

述べた。最後に、完成したテーブルと全員で記念写真を撮影。

完成したテーブルに関しては、1年生の教室前にある芝生部分に設置し、活用していく予定だ。



全員で記念撮影